

02 好きなものを用意すると自然に坐骨座りに

現場ならではの工夫で、その人の好きなものを用意して坐骨座りを引き出している例を紹介します。その人がどんなときに身を乗り出すかを知っている人は生活リハビリの達人です！

◆ 大相撲中継



ひいきの力士を応援して、つい前かがみに！

◆ 気の合う人（職員）との会話



「そうそう！！」と話が盛り上がって前かがみに

◆ 好きなメニュー



朝ごはんのおかずは好物の鮭。
「やった～」と思わず前かがみ

◆ 趣味のあみものに没頭



孫へのプレゼント。編み目を数えるのもまた楽し

◆ エッチな本…



ページを隠して前かがみ…！

コラム

【認知症コラム①】

認知症ケアの基本は食事・入浴・排泄のケア

食事・入浴・排泄といった日常生活動作をその人らしく行うことは、認知症ケアにとって基本のキだと思えます。

認知症の人の「問題行動」の多くが、排泄がらみであることはみなさんも経験があるかと思えます。そうすると「問題行動」と言っていたわれわれ専門職のほうが、排泄ケアをうまくしていなかったという「問題介護」であったのかもしれない。

パンツにウンコを漏らした状態で「お風呂に行こう」と誘われると、やはり行きたくないものです。断ったら「入浴拒否」と言われ、強く抵抗したら「乱暴行為」などと記録に書かれる。これでは、利用者もたまったものではありません。

その人がしっかり排泄できるのは、生きている証。

気持ちよい排泄、ウンコが出たら喜びあえる関係づくり。

本書で紹介している生活リハビリには、食事・入浴・排泄をその人らしく気持ちよく行うための知識と技術が満載です。

認知症ケアには、生活リハビリが役立ちます。

ヒトが毎日必ず行う食事・入浴・排泄の心地よさ、それを喜び含める関係づくりからぜひスタートしてみてください。